



# 大國の子

H29. 7. 20 発行 校長：保坂和彦

「心豊かで、知性に富み、たくましく主体的に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

- 思いやりの心を持ち、助け合う子ども
- よく考え、自ら学ぶ子ども
- 心身ともに健康で、進んで行動する子ども

## 明日から夏休み

梅雨が明けたかと思われるほどの猛暑が連日続いております。

学校では、業間休みや昼休みの過ごし方、教室の温度管理等について養護教諭、保健委員会が毎日放送し、熱中症対策に取り組んでいます。さて、いよいよ明日から、子どもたちが待ち望んでいた夏休みが始まります。38日間の休みですが、けがや病気をせず、健康で安全に過ごしてくれることを願っています。特に、交通事故、水の事故、食中毒や寝冷え、誘拐や変質者からの被害、携帯電話やパソコンのメールによる事故・事件に巻き込まれることがないように、ご注意ください。学校でも、生活指導部から出された「夏休みの生活について」の取組をもとにして指導しましたが、ご家庭でも夏休みの生活について、お子さんと十分に話し合っていたいただけるとありがたいです。

この夏休みですが、自然とのふれあい、ラジオ体操や球技大会等の地域行事への参加、個人的な趣味、運動など、様々な体験ができます。また、自分で見つけた課題を解決する、自分で決めためてに向かって工夫し、努力するという体験は、子どもたちを大きく成長させると思います。

様々な体験を通して、善悪の判断、言葉遣いやマナー、きまりを守ること、親切や思いやり等を学ぶことのできるよい機会だと思います。6年生にとっては小学校最後の夏休み、1年生にとってははじめての夏休みです。有意義に過ごせるよう祈っています。8月28日には元気いっぱいの子どもたちに再会できることを楽しみにしています。



## 青少年赤十字活動

14日(金)には、青少年赤十字加盟登録式を行いました。当日は、5、6年生が式に参加し、山梨県赤十字社からご来校いただいた職員の方々からの話を聞いたり、誓いの言葉を述べたりし、この一年間の赤十字活動への取組が始まりました。以下に記した青少年赤十字の精神や目標に向かって大國小学校の全校児童が活躍してくれることを祈っています。



## 青少年赤十字について

青少年赤十字は青少年が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。人の生命と尊厳を大切に行動する力を養う等、学校教育の中で実践し進められている活動です。

### 青少年赤十字の3つの実践目標

- 健康・安全... 生命と健康を大切にする。
- 奉仕... 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、行動する。
- 国際理解・親善... 広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

### 青少年赤十字の態度目標

「気づき、考え、実行する」

青少年赤十字では、青少年が自主的で、自立した生活態度を養うために『気づき・考え・実行する』という態度目標を掲げています。これは、青少年に「注意深い生活」を心がける習慣を養うとともに、自ら自分の生活または社会の問題やニーズに「気づき」、その原因と解決のための道筋や方法を「考え」、問題解決のために具体的な活動を「実行する」ことの大切さを意識づけるのに役立つものです。(山梨県青少年赤十字HPより 抜粋)

# 子どもたちの防犯意識の高揚に向けて

18日（火）には、南甲府警察署の生活安全課のお巡りさんとスクールサポータの北村様を講師として、全校防犯教室が行われました。今回の訓練では、子どもたちの登下校の際に、不審者が近づいてきたら、どのように対処したらよいかを学習しました。

子どもたちを狙った暴力的犯罪が全国的に増加する中、夏休み期間中に子どもたちが悲惨な犯罪に巻き込まれないように願っています。



子どもの犯罪被害は、年間30万件以上に上っています。

警視庁考案「いかのおすし」を見て子どもたちの防犯意識や、いざという時の対処法を身につけてほしいと思っています。

いか の お す し	—	知っている人にもついて <u>イカない</u>
	—	車や悪い誘いに <u>のらない</u>
	—	「たすけて」と <u>おお</u> 声を上げる
	—	<u>すぐに</u> 逃げる
	—	大人の人に <u>しらせる</u>



## 熱中症にお気をつけください！

### 熱中症 予防

連日の気温の上昇に伴い、全国的にも熱中症への注意喚起がなされているところです。甲府でも、7月に入り、防災放送で市民の皆様方に向けた放送が聞かれるようになりました。

本校においては、5月から暑さに対する健康管理に向けた取り組みとして、水筒の持参、帽子の着用、ハンカチやタオルの持参、規則正しい生活等を呼びかけています。また、6月に入り、養護教諭が保健だよりで熱中症の予防や対策について、子どもや保護者に向けて、具体的な対応について呼びかけています。これらは、本校に設置されている「熱中症対策マニュアル」にそっての対応ですが、この他にも、保健委員会、養護教諭による放送での呼びかけやミストシャワー、緑のカーテンの設置等、できる限りのことに取り組み、この暑さを凌いでまいりたいと思っています。いよいよ夏休みに入り、家庭での生活が中心となります。本格的な暑さもこれからがピークとなりますので、ご家庭におかれましても、

気をつけていただきたいと思います。



ミストシャワー（児童玄関前）



緑のカーテン（ゴーヤ）